

スポット ニュース

立坑を覆うコンクリートの壁

瑞浪超深地層研究所では、立坑を発破で掘削し壁面の観測を行った後、安全のため壁面をコンクリートで覆います。このコンクリートは、コンクリートキブルと呼ばれるバケツのような容器にコンクリートを入れて地上から立坑の底まで運搬します（左下の写真参照）。その後、セットした型枠と壁面との間にコンクリートを流し込み壁面をコンクリートで覆います（右下の写真参照）。

コンクリートの厚さは約40センチで2.6センチ毎に立坑の壁面をコンクリートで覆っていきます。



コンクリートの運搬の様子



壁面を覆う型枠の様子

立坑掘削のための設備 ～シャフトジャンボ～

立坑の掘削には、取り扱いが安全な火薬を使用します。まず、シャフトジャンボと呼ばれる機械を立坑の底に入れ直径約5センチ、深さ約1.3メートルの孔を垂直や斜めなどに数十ヶ所掘ります。

この孔に火薬を入れ1回の発破で約1.3センチずつ掘削していきます。



写真はシャフトジャンボ

瑞浪超深地層研究所を見てみませんか？

6月も下記のとおり瑞浪超深地層研究所の研究坑道などの見学会を開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。お手数ですがこの見学会には事前申し込みが必要ですので希望される方は、6月23日（木）までに住所、氏名、電話番号をお知らせの上、お申し込みください。なお、見学会は毎月定期的で開催する予定です。

《開催日時》平成17年6月26日（日） 10:00～11:30

《申し込み先》【リダイヤル】0120-333-112(地域交流課) 【FAX】0572-66-2124

【Eメール】tgc@jnc.go.jp

※お知らせいただいた住所等は見学会の目的以外には使用いたしません

瑞浪国際地科学交流館ミニギャラリーの展示案内

瑞浪国際地科学交流館の1階にあるミニギャラリーでは、「瑞光会 油絵展示会」の作品を展示いたします。是非、瑞浪国際地科学交流館へ足をお運びください。

【期間】平成17年6月1日～平成17年6月30日 10:00～21:00

【場所】瑞浪市明世町戸狩字大狭間36-8

今月の主な作業内容

【瑞浪超深地層研究所】（5月20日現在）

- ①主立坑及び換気立坑の掘削工事（主立坑：96.6センチ 換気立坑：100.2センチ）
- ②深いボーリング孔（MIZ-1号孔）での水圧などの長期観測
- ③浅いボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔）での水圧などの長期観測
- ④狭間川における流量観測及び用地周辺周辺井戸での水位観測
- ⑤気象観測及び地下水位観測
- ⑥地表の傾斜量の観測

【正馬様用地】

- ①既存のボーリング孔での水圧などの長期観測

地層研ニュースに関するご意見・ご要望などございます方、また瑞浪超深地層研究所の見学をご希望される方は、お手数ですが下記までご連絡をお願いします。

【リダイヤル】0120-333-112 【FAX】0572-66-2124 【Eメール】tgc@jnc.go.jp

東濃地科学センター 地域交流課（青木、木内、福島）

《東濃地科学センターホームページ <http://www.jnc.go.jp/ztounou/index.htm>》

来月の主な作業内容（6月）

【瑞浪超深地層研究所】

- ①主立坑及び換気立坑の掘削工事
- ②主立坑と換気立坑をつなぐ水平の坑道（予備ステージ）の掘削工事
- ③立坑掘削時の発破の振動を利用した地下を調べる研究
- ④深いボーリング孔（MIZ-1号孔）での水圧などの長期観測
- ⑤浅いボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔）での水圧などの長期観測
- ⑥狭間川における流量観測及び用地周辺周辺井戸での水位観測
- ⑦気象観測及び地下水位観測
- ⑧地表の傾斜量の観測

【正馬様用地】

- ①既存のボーリング孔での水圧などの長期観測